



酒バー & 日本料理店編

品名	産地	酒種	SMV	Glass 100ml	Carafe/Masa 180ml	Bottle 720ml
七田セット (Dassai 23, Dassai 39, Dassai 50)	山形	純米吟醸	-			\$170
府中セット (渡舟純米吟醸、渡舟純米酒、太平洋)	新潟	純米吟醸	+2	\$170	\$305	\$1100
鳴門鯛純米吟醸、鳴門鯛純米酒、鳴門鯛純米酒	徳島	純米吟醸	+3	\$220	\$395	\$1400
一期一会 Ichigo Ichie	福井	純米吟醸	+4			\$720
福千歳 福 Fukuchitose Fuku	福井	純米吟醸	+3			\$1600
山形 Yamagata	山形	純米吟醸	+3	\$70	\$124	\$450
長野 Nagano	長野	純米吟醸	+4			\$1340
愛知 Aichi	愛知	純米吟醸	+5	\$110	\$200	\$720
山形 Yamagata	山形	純米吟醸	+3	\$106	\$190	\$600
山形 Yamagata	山形	純米吟醸	+3	\$185	\$335	\$900
山形 Yamagata	山形	純米吟醸	+5	\$240		(360ml)
佐賀 Saga	佐賀	純米吟醸	+2	\$125		\$220

①日本酒バー「吟」@セントラル (中環)

- 「香港で日本酒を楽しむならここ」と複数の人に奨められたお店。セントラルの繁華街、ランカイフォン (蘭桂坊) のビルの4階にあるのだが、看板を出していない。尋ねに尋ね、飛行機が大幅に延着したこともあって深夜2時頃ようやくたどり着いたのだが、幸い週末は3時まで営業。
- ホンコン初日の夜、「真澄・みやさか純米」「蓬萊泉・純米吟醸」「天狗舞・山廃」「七田」を、和の肴で堪能しました。グラスでいろいろな種類を飲むのはワインにないサケの楽しみ。
- 後で知ったが、オーナーの日本女性は「酒サマライ」。ニューヨークでも日本酒のお店の経験がある方。日本ではなかなかお目にかかれない「獺祭23・39・50」や「七田の純米大吟・純米吟醸・純米」の垂直テイスティングセットなど、サケリストの充実振りはずばらしい。焼酎、日本ウイスキーもある。

品名	産地	酒種	SMV	Glass 100ml	Carafe/Masa 180ml	Bottle 720ml
獺祭 23 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$70	\$124	\$450
獺祭 39 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$106	\$190	\$600
獺祭 50 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+5	\$110	\$200	\$720
真澄 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$106	\$190	\$600
真澄 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$185	\$335	\$900
真澄 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+5	\$240		(360ml)
真澄 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+2	\$125		\$220
蓬萊泉 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$70	\$124	\$450
天狗舞 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$106	\$190	\$600
山廃 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$106	\$190	\$600
七田 (純米吟醸)	山形	純米吟醸	+3	\$106	\$190	\$600



②寿司「穴」@コーズウェイベイ (銅鑼灣)

- 「京都廣場」というレストランビル (11階までほとんど日本食、1階は牛丼の吉野屋) の5階。本当は9階の「地酒処・粟」を奨められていたのだが偶々臨時休業だったので、エレベーターで降りながらこのお店を選んだ次第。
- 地元資本の経営で、何店舗が展開しているやや高級な寿司・刺身店。「獺祭・純米大吟醸300mlびん」HK\$198、「上善如水300mlびん」HK\$188を美味しくいただく。メニューには「碟矢 (チョーヤ) 特選300mlびん」HK\$88なども。



酒バー & 日本料理店編



③ 寿司「徳美」@カオルーン (九龍)

■ やはり地元資本の店で何店舗か展開している。平日の昼すぎ、地元の人で満員だった。
■ 定食を取ったが、にぎり寿司、うどん、茶碗蒸しなど、十二分な食べ応え。写真入りのサケメニューはわかりやすい。「真澄ゴールド300mlびん」HK\$110をいただいた。

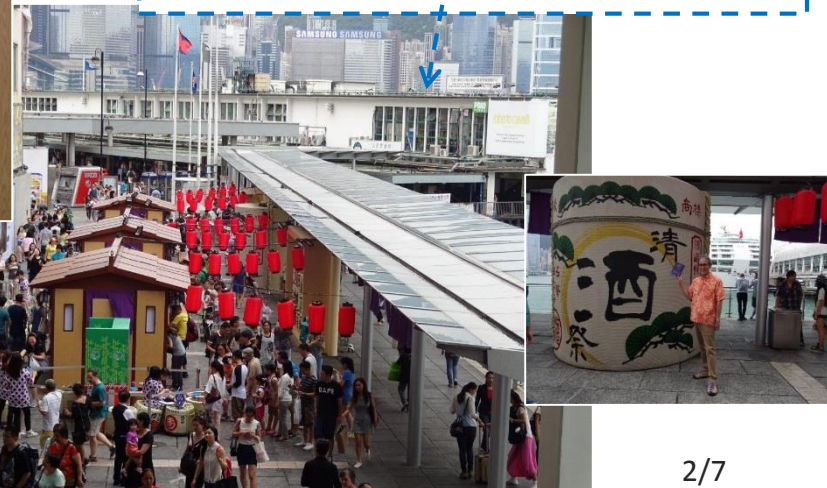
- 香港は20年ぶりだったが、日本食レストラン（寿司や本格的日本料理店から、ラーメン、牛丼、ファーストフードまで）の増加振りには驚かされる。地元の人に聞くと、この2年ほどで急速に増えたそう。
- 香港では、自宅で食事を取らず3食とも外食、という生活パターンの人が多いが、その中の1食として日本食を選ぶ人が増えたのだろう。
- 香港の日本食レストランの特徴は：欧米の日本食レストランに比べ、サケ消費量が多い、かつ高単価のサケが売れる（ボトルで飲む人が多い）ことであるように感じた。
- 一方、香港発でロンドンでは盛況の日本レストラン「ROKA」は、香港では店を閉めてしまっているようだ。ハイエンドマーケットの嗜好は、ニューヨークやロンドンとは違うのかもしれない。

清酒イベント編



④ 海港城清酒文化祭@カオルーン

■ 香港最大級のショッピングモール「ハーバーシティ（海港城）」では、偶々「清酒祭」が行われていた。
■ 場所は香港島行きの「スターフェリー」（ほとんどの観光客が乗る名物フェリー）の船着場のすぐ横。多くの人でにぎわっていた。





スーパー & デパートの売り場編

⑤ 「シティスーパー」@カオルーン

- 返還直前の1996年創業のハイクラススーパー。(香港の中国返還が1997年) 日本でいけば紀ノ国屋、アメリカで言えばWhole Foodsといった感じ。香港内で20店舗を展開。
- 酒類売り場における日本酒の占有面積はとても大きい。扱い銘柄も、日本の一般的なデパートをしのご豊富さ。流通を通さず、自社で輸入するそうだ。

販売価格観察

2015年5月現在、HK\$1=約¥17

<1.8リットル>

- 伯樂星 HK\$1,500
- 獺祭・2割3分 HK\$1,180
- 獺祭・3割9分 HK\$610
- 久保田・萬寿 HK\$1,060
- 久保田・碧寿 HK\$660

<720mlびん>

- 久保田・翠寿 HK\$460
- 南部美人初搾 HK\$410
- 七田純米吟醸 HK\$205
- 蒲原・山田錦 HK\$220

<300mlびん>

- 竹林 HK\$135
- 玉川純米大吟醸 HK\$110
- 梵 HK\$70
- 酔心 HK\$60

- 参考に日本の果物：デラウエア318gのパックがHK\$165
中くらいのスイカがHK\$288



⑥ 「そごう」@コースウェイベイ

- 「そごう(崇光)」デパートはコースウェイベイのランドマークとして古くからお馴染み。名前はそごうだが、今は100%現地資本。ちょうど、30周年特売セール(崇光30周年特価)の最中でとてもにぎわっていた。日本酒売り場の充実振りはシティスーパーと双壁。
- かつて香港では、大丸、松坂屋、そごう、三越、伊勢丹、東急、西武の日系デパートがあったが、今はすべて撤退。そごうと西部が現地資本となって名前だけ残る。
- スーパーでは、かつて有名だったヤオハンが中国への返還直後に経営破綻。現在はイオンが10店舗以上を展開。

販売価格観察

<1.8リットル>

- 東光純米大吟醸 HK\$725
- 玉乃光純米大吟醸 HK\$658
- 龍力 HK\$442

<720mlびん>

- 田酒純米大吟醸 HK\$1,468
- 小鼓そごう30周年ボトル HK\$1,088
- 而今 HK\$398
- 春鶯囀 HK\$240
- 春鹿純米超辛 HK\$148
- 白雪純米昭和之酒 HK\$132





- 前ページのシティスーパーとそごうが代表的な清酒売り場だが、その他の店も見ておこう。
- マーケットプレイスは現地系スーパー、イオン・マックスバリュは日系。ともに、清酒コーナーには「チョンハ」（「清」のラベル）などの韓国清酒も並ぶ。
- もともとワインやウイスキーの店だったとおぼしき街中酒販店にもいまや清酒が並ぶ。

⑥「Market Place」⑦「イオン・マックスバリュ」⑧街中酒販店



日本ワイン & 日本ウイスキー編

⑨日本ワイン、日本ウイスキー

- 日本ワイン：シティスーパーには清酒、焼酎、梅酒、日本ウイスキーのほか、日本ワインもあった。メルシャンの「萌黄」と「藍茜」はともにHK\$275。
- 日本ウイスキー：サントリーやニッカはもちろん多く並んでいるが、香港空港には「岩井」（本坊酒造）と「あかし」（江井ヶ島酒造）もあった。「岩井」がHK\$545とHK\$460、「あかし」はHK\$258。





大手
日本ビール編

- 先述の「シティスーパー」のビール売り場。キリン、アサヒ、サッポロ、サントリー、オリオンのすべてが並ぶ。
- 日本製と日本で生産されたものの両方がある。

シティスーパーとセブンイレブンにて価格観察
<日本製350ml缶>

- キリンラガー HK\$ 9~10
- スーパードライ HK\$ 9~10
- オリオン HK\$ 13
- プレモル HK\$ 14

<日本外の生産の330ml缶>

- キリン一番 HK\$ 9~10
- スーパードライ HK\$ 8.5 (日本製・日本外の両方が市中にある)
- サッポロプレミアム HK\$ 10

香港は関税・酒税がない(メルマガで詳述)ので、輸送費をかけても日本より安い。因みに海外ブランドの330ml缶は:

- ハイネケン HK\$ 7~8
- カールスバーグ HK\$ 7~8



- NYやロンドンと同じく、香港にも「ソーホー」がある。そのソーホーのイングリッシュ・パブにて。ギネス、カールスバーグなどと並んで、アサヒのタップが。
- 空港にて。「香港初」の表示のあるアサヒの「自動ドラフトビール・ディスペンサー」。グラスが自動的に傾いてきれいな泡を作る。



クラフト
ビール編



- もちろん香港もクラフトビールブーム。何軒かのブルワリーパブとクラフトビール専門パブがある。時間の関係で訪問しなかったが、夜に前を通ると満員の店が多かった。
- 香港で一番大きなクラフトビール Hong Kong Beer Coは、2013年にシンガポールのクラフトビールBrewerkzが買収。アメリカ、オーストラリア、日本では「大手がクラフトを買収」だが、このような「クラフトがクラフトを買収」の図式も増えるのかも。
- 小売店店頭に並ぶ日本のクラフトビールは、エチゴ、銀河高原、小江戸、ヒデジビール、網走ビールなど。ベルギー製の「馨和」(日本クラフトビール)もあった。そのほか、アメリカ、カナダ、オーストラリアなどのクラフトビールが数多く並ぶ。



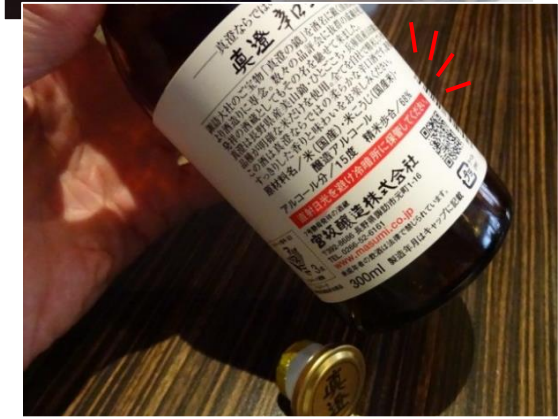
- 中国側の広州でもクラフトビールがはやっていっている模様。
- 広州と香港に在住する日本人向けの無料週間冊子「PPW」は、偶々クラフトビール特集。



ラベル表示観察編

- 日本の大手ビールの表示を観察。「キリン一番搾り」「アサヒスーパードライ」「サッポロプレミアム」は330mlで、日本製ではない。英語表示で「under supervision of xxxxx」と書かれているが、製造業者名はもちろん、生産国もない。「カールスバーグ」など、他の世界ブランドも同じ。生産国を書かなくてもいい国は珍しいと思う。(キリン・アサヒ・サッポロは、たぶん中国製とベトナム製。)
- 香港には「Code of Practice on the Labeling of Alcoholic Drinks」(酒類表示規程)があって、①製品名、②製造者かパッカー(または生産国と香港の代理店)、③アルコール度数10%未満のものは賞味期限、の3つを、中国語・英語・または両方で記載するよう求めている。なんだか、違反しているように思ったが、、この規則をよく読むと、「ona voluntary basis (自発的に従うべき)」で、義務ではないのだ。
- 一方、「キリンラガー」「プレミアムモルツ」「オリオンビール」は350ml缶や334mlびんで、日本製。日本で市販されているままの(日本語表示のままの)パッケージ。「キリンラガー」だけは小さな英語ステッカーが貼ってあったが、ほかは日本語のみ。日本語表記のまま売ることができるとは国内も珍しい。なお、店によって「アサヒスーパードライ」は日本製350ml缶もあった(前ページの写真)が、これは国内用と違って輸出用の英語表示になっていた。
- なお、香港の名誉?のために付け加えると、酒類以外のすべての食品にはきちんとした義務の表示ルールがある。たとえばキッコーマン醤油を見ると生産国、生産工場、原材料、賞味期限など、英語と中国語で記載されている。

- 「八海山」と「真澄」で日本酒ラベルを観察。写真の通り、まったく日本仕様。日本語しか書かれていない。スーパーで見ると、ごく一部に香港の輸入業者などの企画で中国語表記のラベルの清酒もあったが、多くの日本酒は日本ラベルのまま販売されている。
- 先述の通り、Code of Practiceは「中国語・英語・または両方」の記載を求めているが、voluntaryだからまあいいのだろう。
- 香港の人に聞けば「日本のままのほうが信用される」のだろう。社名や原材料などは漢字が多いからある程度判るのだろうけれど、それにしても、、である。
- 日付は新しいものが多い。韓国や中国は距離は近くても通関に日数を要することもあったが、香港は日本の蔵元を出て1週間程度で店頭に並ぶこともあるという素早らしい。



[おまけ] インバウンド需要対応のパッケージデザイン watching in KIX 2015



- 2014年ごろからの「インバウンド需要」の伸びには目を見張るものがある。関空で、中国人旅行者などをターゲットにした酒類のパッケージデザインを観察。
- トリス、オールド、ロイヤル、響などが、日本国内の通常のパッケージとは異なるデザインで販売されている。富士山をモチーフにしたものや、金色を多用したデザイン。よく売れているようでした。



7/7(end)